

2023年11月14日
長野県伊那市
川崎重工業株式会社

長野県伊那市の「無人 VTOL 機による物資輸送プラットフォーム構築事業」に 最新実証機「K-RACER-X2」を投入

長野県伊那市（市長：白鳥孝、以下「伊那市」）が令和3年度から取り組んでいる「無人 VTOL 機による物資輸送プラットフォーム構築プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）に参画する川崎重工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：橋本 康彦、以下「川崎重工」）は、最新実証機「K-RACER-X2」を投入し、伊那スキーリゾートにて飛行試験およびデモ飛行を実施しました。



国内山間地では労働人口減少などにより輸送能力が減る一方、山小屋への物資輸送やさまざまな公共インフラの維持および更新などの需要は堅調であることから、物流インフラが維持できなくなるリスクが高まっています。

本プロジェクトは、川崎重工が開発する VTOL 無人機「K-RACER」を使い、山小屋への物資輸送スキームを構築することを目標としています。これまで通信品質や自然環境の調査、事故リスクの検討などを行うとともに、飛行ルートの方針を進めてきました。今回、メイン・ローター直径を 5m から 7m としたことなどにより標高 0m でのペイロードを 100kg から 200 kg へ大幅に向上させた実証機「K-RACER-X2」を投入し、麓から山小屋まで物資を輸送する実証実験を通じてサービス能力の検証を行います。

なお本スキームは、同様の課題を抱える全国の自治体や関係団体に水平展開が可能な汎用性・拡張性を持ち、持続可能な社会の実現に貢献します。

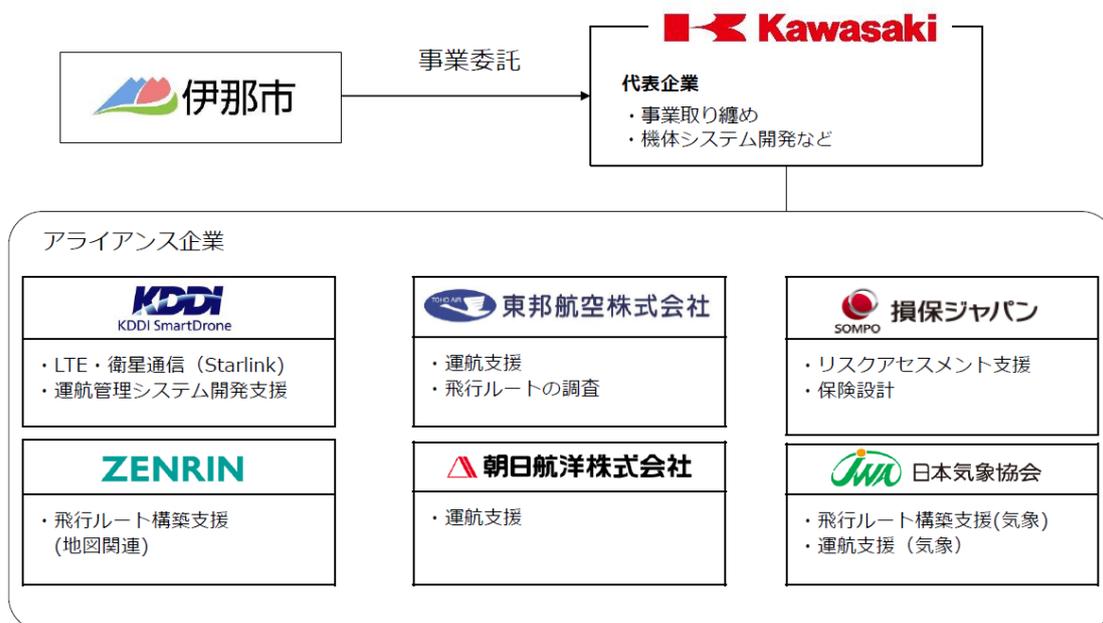
【K-RACER について】

有人ヘリコプターによる荷揚げ業務を代替することを目的として、川崎重工が開発中の無人 VTOL 機です。実証機「X2」は、旧型「X1」をベースに、山間地での物資輸送により一層適した形態・仕様に改善されたもので、標高 3,100m の山小屋へ 100kg の貨物を輸送可能です。

【K-RACER-X2 基本仕様】

- メイン・ローター直径：7m
- 最大ペイロード：200 kg（標高 0m）、100kg（標高 3,100m）
- 駆動方式：レシプロ・エンジン
- 燃料：ハイオクガソリン
- 航続距離：100km 以上
- 連続運用可能時間：1 時間以上

【事業体制（令和 5 年度）】



<過去のプレスリリース>

・2021 年 10 月 5 日発表「世界初、長野県伊那市が 無人 VTOL 機による物資輸送プラットフォーム構築事業を 中央アルプス・南アルプスでスタート」～全国へのビジネスモデル展開を目指す～

https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_211005-1.pdf